



消防千葉

2026 No.613 令和8年1月号

目次

年頭のごあいさつ（千葉県知事・千葉県消防協会長）	2・3
年始のごあいさつ（消防協会役員・評議員・顧問・消防団長等）	4・5
令和7年度消防功労者等の決定	6
第61回消防殉職者慰霊祭	7
第26回 全国女性消防操法大会	8
令和7年度消防団員災害対応力強化研修会	9
令和7年度消防団員指導員研修	10
消防学校1日入団・入校体験会	11
東西南北	12・13
日々の動き	14



飯高檀林（海匠支部）

年頭のごあいさつ



謹んで新年の御挨拶を
申し上げます。



県内約31,000名の消防職員、消防団員並びに関係者の皆様におかれましては、日夜、火災・地震・風水害などの各種災害から、地域住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、献身的に職務に精励されておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

また、昨年の全国女性消防操法大会では、本県代表として出場した柏市女性消防隊が見事優勝されました。今回の栄誉は、本県消防の高い評価と一層の発展につながるものであり、出場選手や日々の訓練を支えてこられた関係者の方々に敬意を表するとともに心よりお祝い申し上げます。

地域防災の中核を担う消防団の活性化は大変重要であり、県においても、消防団員の技術力向上や入団促進に向けた取組を一層推進してまいります。

さて、昨年は2月に「大船渡市大規模林野火災」、11月に「大分市佐賀関の大規模火災」などが発生し、甚大な被害をもたらしたほか、7月には「カムチャツカ半島付近の地震」による津波警報が発令され、先月の青森県で震度6強を観測した地震では、初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されるなど、近年の災害は激甚化・頻発化しています。さらに、大規模災害の発生なども危惧されている中、消防に対する県民の期待はますます高まっており、消防防災体制の更なる強化が求められています。

現在、県では「防災県千葉」の確立に向けて、消防をはじめとする関係機関との連携強化やデジタル技術を活用した被災者支援、避難所環境の向上など、災害対応力の強化に取り組んでいるところです。

関係者の皆様方におかれましては、激甚化・頻発化する災害に備え、地域住民の安全、安心確保のため、引き続き御尽力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、本県消防のますますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げまして年頭の挨拶といたします。

令和8年元旦

千葉県知事 熊谷 俊人

年頭のごあいさつ



令和8年の新春を迎え、
謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。



消防職・団員並びに消防関係者の皆様には、日頃から地域の安全・安心を守るため、地域防災の最前線に立ち、日夜献身的な活動を続けていただいておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

また、平素から当協会の運営や活動に対して格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、10月に横浜市で行われた全国女性消防操法大会で、柏市女性消防隊が優勝するという明るいニュースがありました。この優勝が消防団の一層の活性化に繋がれば幸いです。

さて、自治体消防は、関係各位のご努力により着実な発展を遂げ、今や地域住民に最も身近な防災機関として、住民から大きな期待と信頼が寄せられております。

こうした中で、昨年2月の大船渡市をはじめとする森林火災、11月の大分市の大規模火災、記憶に新しいところでは妙義山と日向山での森林火災や、青森県東方沖を震源とした震度6強の地震により初めて後発地震注意情報が発表されるなど、近年は、全国各地で想定を超える災害が多発しており、今後、南海トラフ地震や首都直下地震等の大規模地震の発生も危惧されています。

当協会といたしましても、快適で安全・安心な郷土づくりのために、各地の消防団が常備消防と協力して消防活動がより安全で迅速なものとなりますよう、さらに努力してまいります。

新しい年を迎え、気持ちも新たに千葉県消防発展のため、防火防災思想の普及啓発消防職・団員の福利厚生促進をはじめ、消防団員の確保と消防団の活性化にも全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますとともに、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

結びに、千葉県消防のますますのご発展並びに皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

令和8年元旦

公益財団法人 千葉県消防協会会長
千葉県少年女性防火委員会会長

石 橋 毅

明けましておめでとうございます

香 取 支 部

香取広域市町村圏事務組合

香取市消防団長 天野敏秀

神崎町消防団長 椿真寿男

香取広域市町村圏事務組合

多古町消防団長 工藤和明

香取広域市町村圏事務組合

東庄町消防団長 高橋浩一

海 匝 支 部

銚子市消防団長 伊藤義則

匝瑳市消防団長 大関昌宏

旭市消防団長 加瀬一雄

山 武 支 部

東金市消防団長 橋本吉保

山武市消防団長 高田 淳

大網白里市消防団長 小倉光夫

九十九里町消防団長 齊藤晃久

芝山町消防団長 松本重之

横芝光町消防団長 川島光男

長 生 支 部

長生郡市広域市町村圏組合

消防団長

関野富男

夷 隅 支 部

勝浦市消防団長

黒川民雄

いすみ市消防団長

露崎信夫

大多喜町消防団長

須金昭夫

御宿町消防団長

石井博之

安 房 支 部

館山市消防団長

吉野隆志

鴨川市消防団長

海老谷厚

南房総市消防団長

新井英明

鋸南町消防団長

大胡昌広

君 津 支 部

木更津市消防団長

細野 暢

君津市消防団長

平野宏行

富津市消防団長

澤田正弘

袖ヶ浦市消防団長

阿津好幸

千 葉 県

防災危機管理部長

青柳 徹

地域防災担当部長

久本 修

防災危機管理部長次長

能條靖雄

消防課長

宮川江美

消防学校長

横田裕之

千 葉 県 消 防 協 会 準 会 員

一般社団法人

千葉県消防設備協会

鬼怒川ゴム工業株式会社

日本曹達株式会社 千葉工場

株式会社 MORESCO

丸善石油化学株式会社 千葉工場

AGC 株式会社 千葉工場

コスモ石油株式会社 千葉工場

住友化学株式会社 千葉製油所

千葉工場環境安全本部

大阪国際石油精製株式会社

三井化学株式会社 市原工場

株式会社 レゾナック 五井事業所

デンカ株式会社 千葉工場

日本中央競馬会 中山競馬場

流山キックマン株式会社

成田国際空港株式会社

成田山新勝寺

日華化学株式会社 関東工場

三井化学株式会社

茂原分工場安全環境グループ

広栄化学株式会社 千葉工場

富士石油株式会社 袖ヶ浦製油所

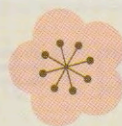
N A セーフティサポート株式会社

(順不同)



います

令和8年元旦



公益財団法人千葉県消防協会

会長

石橋 毅

副会長 (消防長会長)

市村 裕二

同 (安房支部長)

吉野 隆志

同 (東葛飾支部長)

鎌倉 博光

同 (印旛支部長)

根本 貴博

同 (千葉支部長)

横須賀 隆行

理事

同 (香取支部長)

工藤 和明

同 (海匠支部長)

加瀬 一雄

同 (山武支部長)

橋本 吉保

同 (長生支部長)

関野 富男

同 (夷隅支部長)

露崎 信夫

同 (君津支部長)

細野 暢

同 (消防長会)

尾花 隆男

同 (消防長会)

田村 和弘

同 (県消防課長)

宮川 江美

同 (県消防学校長)

横田 裕之

専務理事

伊藤 亮一

常務理事

小神野 光俊

監事 (東葛飾支部)

梅澤 一雄

同 (印旛支部)

宮本 浩

同 (消防長会)

高梨 俊治

同 (公認会計士)

草薙 信久

千葉県消防協会評議員

千葉 支部

鈴木 憲一

同

中村 洋一

東葛飾 支部

本田 鉄二

同

飯田 喜治

印旛 支部

中村 健司

同

藤崎 和彦

香取 支部

増田 和久

同

高橋 浩一

海匠 支部

卯月 紀明

同

大関 昌宏

山武 支部

戸田 正哲

同

川島 光男

長生 支部

丸 宏史

同

城竹 貞治

夷隅 支部

藤平 欣也

同

黒川 民雄

安房 支部

須藤 和英

同

海老 谷厚

君津 支部

庄司 健一

同

澤田 正弘

公益財団法人千葉県消防協会顧問会役員等

相談役

目良 和夫

同

吉野 正壽

会長

畔蒜 晴夫

副会長

石井 友治

同

廣田 元一

同

鈴木 俊一

同

増田 久雄

同

小高 利広

同

椎名 孝次

同

斉藤 弘一

同

布留川 博保

監事

高橋 諭



県下市町村消防団長

千葉 支部

千葉市消防団長

中村 洋一

習志野市消防団長

飯田 裕一

市原市消防団長

横須賀 隆行

八千代市消防団長

長岡 勇

東葛飾 支部

市川市消防団長

岡本 宜幸

船橋市消防団長

鎌倉 博光

松戸市消防団長

小嶋 功

野田市消防団長

木名瀬 訓光

柏市消防団長

鈴木 哲

流山市消防団長

梅澤 一雄

我孫子市消防団長

鈴木 誠

鎌ヶ谷市消防団長

飯田 喜治

浦安市消防団長

大川 三敏

印旛 支部

成田市消防団長

藤崎 和彦

佐倉市消防団長

飯島 久義

四街道市消防団長

山崎 英企

八街市消防団長

福田 昌広

印西市消防団長

宮本 浩

白井市消防団長

中村 敦雄

富里市消防団長

大澤 弘

酒々井町消防団長

小池 秀和

栄町消防団長

根本 貴博

令和7年度 消防功労者等の決定

消防業務又は消防行政などに功労のあったもの及び消防の永年勤続者に対して、公益財団法人日本消防協会と公益財団法人千葉県消防協会から表彰する消防功労者等がこのたび決定しました。令和7年度は、1,458人が受章されます。

1 公益財団法人日本消防協会長表彰 令和8年3月6日(金)

日本消防会館 ニッショーホール

2 公益財団法人千葉県消防協会長表彰 令和8年3月17日(火)

青葉の森公園芸術文化ホール

支部別消防功労者等一覧

令和7年12月5日現在

	千 葉	東葛飾	印 旛	香 取	海 匝	山 武	長 生	夷 隅	安 房	君 津	協 会	合 計
日本消防協会長	58	95	74	12	24	30	14	18	25	23		373
特 別 功 労 章												0
特別表彰まとい												0
表 彰 旗												0
竿 頭 綬												0
功 績 章 (一 般)	4	6	5	2	2	3	1	2	2	3		30
功 績 章 (女 性)		1										1
精 績 章 (一 般)	10	15	12	5	5	7	3	4	5	6		72
精 績 章 (女 性)	1	1										2
勤 続 章	43	72	57	5	17	20	10	12	18	14		268
優良女性消防隊												0
優良女性消防隊員												0
永年勤続職員表彰												0
千葉県消防協会長	225	292	118	47	71	104	60	59	47	62		1,085
出 初 式	62	94	72	32	29	39	21	26	32	38		445
功 労 章	15	23	18	8	7	10	5	6	8	9		109
精 勤 章	47	71	54	24	22	29	16	20	24	29		336
消 防 大 会	163	198	46	15	42	65	39	33	15	24		640
特 別 功 労 章	1	2	1	1		1	1	1	1	1		10
永年勤続功労章	87	104	22	7	23	40	22	19	6	15		345
功 績 章	4	6	5	2	2	3	1	2	2	3		30
表 彰 状	個 人	7										7
	団 体											0
感 謝 状	配偶者	71	69	18	5	17	21	15	11	6	5	238
	全国操法		10									10
合 計	283	387	192	59	95	134	74	77	72	85		1,458

第61回 消防殉職者慰霊祭

令和7年10月30日(木)に「第61回消防殉職者慰霊祭」が、千葉県及び公益財団法人日本消防協会の後援のもと、千葉県消防学校屋内訓練場において、御遺族、来賓、消防関係者に参列をいただき、厳粛に執り行われました。

この慰霊祭は、郷土防災の使命を果たしてその職に殉じた御霊を慰め併せて消防士気の高揚と防災思想の普及を図るため毎年実施しており合祀されている殉職者は、消防組時代29柱、警防団時代11柱、消防(局)本部・消防団時代の50柱、そして消防協力者6柱、合わせて96柱となっています。



式典は鎌倉消防協会副会長の開式のことば、慰霊碑に拝礼の後、国歌斉唱が行われ、消防殉職者96柱の御霊に対し参列者全員が黙とうを捧げました。

その後、消防協会長(代理 吉野副会長)から、「私達消防人一同は、御霊の御遺訓を受け継ぎ、心新たに団結を強め、地域防災に力を尽くし、安全で安心な社会を実現するため精進努力することを誓います。」と式辞を述べられました。



高梨千葉県副知事



三沢千葉県議会副議長

次に千葉県知事(代理 高梨副知事)から「皆様が身をもって示された崇高な志は、今もなお3万1千の消防人に脈々と受け継がれるとともに、最愛の肉親を失われた御遺族の胸中にも大きな誇りとして生き続けていることと存じます。

本県の消防は、関係者の皆様の御努力により、その力を着実に向上させており、地域に密着した防災機関として住民からも多大な信頼が寄せられています。県といたしまして、防災関係機関と一致団結し、決意を新たに防災対策の一層の充実に努めていくことを皆様の前でお誓いいたします。」と追悼のことばが捧げられました。

その後、三沢千葉県議会副議長、金坂千葉市長会理事(大網白里市長)、岩田千葉県町村会長(東庄町長)から追悼のことばが捧げられ、御来賓の紹介と日本消防協会秋本会長からの追悼のメッセージが披露されました。続いて御遺族、来賓、消防関係者、消防団長及び消防長の方々から、殉職者慰霊碑に献花が行われました。最後に、御遺族代表の清水敏美様から「故人の在りし日の消防活動に励む姿を忘れず、地域防災に身を捧げたことを大きな誇りにして、これからも、日々、力強く生きていく所存でございます。」とのお礼のことばと、消防協会長(代理 吉野副会長)からお礼のことばが述べられ、根本消防協会副会長の閉式のことばにより終了しました。

第26回全国女性消防操法大会(柏市女性消防隊 優勝)

令和7年10月28日(火)、第26回全国女性消防操法大会が消防庁と公益財団法人日本消防協会の主催により、横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催されました。

この全国女性消防操法大会は、都道府県代表の女性消防団員等が、迅速、確実かつ安全に行動するために定められた消防用機械器具の取扱い及び操作の基本について、その技術を競う大会です。全国女性消防操法大会で競技される消防ポンプ操法は、軽可搬ポンプを使用した「軽可搬ポンプ操法」となっています。

大会は晴天の中、各都道府県代表として選ばれた女性消防隊44チームが出場し、日頃の訓練の成果を競い合い、女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図りました。

千葉県からは、柏市女性消防隊が第1コースの6番目に出場し、多くの応援の声を背に日頃の訓練の成果を出し切るべく、堂々たる操法が行われました。

全てのチームの操法終了後、優勝1チーム、準優勝2チーム、優秀賞3チーム、優良賞6チーム、更には優秀選手10名の審査結果(別表参照)が審査長から発表され、千葉県代表の柏市女性消防隊は、3度目の挑戦で千葉県初となる優勝の栄冠を手に入れました。



柏市女性消防隊メンバー

	氏 名
隊 長	鈴木 香織
指揮者	杉富由美子
1番員	田畑 絢子
2番員	山崎 未歩
3番員	小川友佳織
4番員	藤原 美貴
補助員	北村 綾香

(出場隊概要)

柏市女性消防隊は、平成26年4月に女性分団として発足。普通救命講習や火災多発期における夜間特別警戒、未就学児を対象とした独自のパネルシアターを作成し、未来の防災を担う子供たちに防災への興味を持ってもらうため地域防災力強化につながる活動を実施しています。

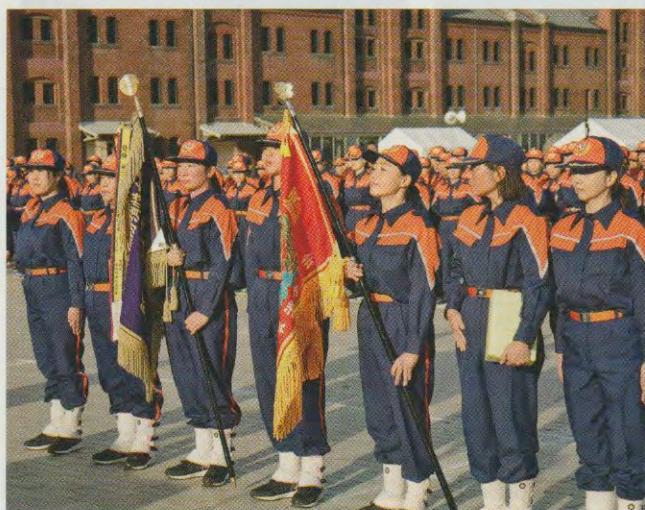
これまで第22回大会、第23回大会に出場。



成績表

出場隊	都道府県	女性消防隊名	タイム	総合得点
優 勝	千葉県	柏市女性消防隊	49.29	90.0
準優勝	福岡県	筑後市女性消防隊	51.90	90.0
準優勝	東京都	八王子市消防団女性消防隊	50.20	89.0
優 秀	山口県	和木町女性消防隊	51.25	88.0
優 秀	熊本県	八代市本部女性消防隊	44.29	85.5
優 秀	三重県	津市女性消防隊	46.28	85.0
優 良	岐阜県	高山市消防団女性消防隊	50.61	85.0
優 良	奈良県	奈良市女性消防隊	50.13	84.5
優 良	愛知県	安城市消防団女性消防隊	52.76	83.0
優 良	鳥取県	境港市女性消防隊	50.53	82.5
優 良	鹿児島県	日置市女性消防隊	50.02	80.5
優 良	山形県	小国町女性消防隊	51.11	79.0

個人賞	コース	都道府県名	女性消防隊名	選手名
指揮者	1	千葉県	柏市女性消防隊	松富由美子
	2	山口県	和木町女性消防隊	米村 清美
1番員	1	福岡県	筑後市女性消防隊	鈴木理恵子
	2	宮崎県	椎葉村消防団女性消防隊	尾前 幸子
2番員	1	福岡県	筑後市女性消防隊	大山 恵美
	2	新潟県	上越市女性消防隊	佐藤 未樹
3番員	1	栃木県	宇都宮市女性消防隊	飯塚 典子
	2	山口県	和木町女性消防隊	岩岡久美子
4番員	1	千葉県	柏市女性消防隊	藤原 美貴
	2	山口県	和木町女性消防隊	川野夕起恵



令和7年度消防団員災害対応力強化研修会

県消防課では消防団のさらなる災害対応力強化のため、実災害での活動経験や訓練の機会が少ない消防団員の技術力の維持・向上に向け、10月11日(土)に「火災対応研修会」、26日(日)に「大規模災害対応研修会」をそれぞれ、千葉県消防学校において開催しました。

「火災対応研修会」には、県内31所属の45名の消防団員が参加、要救助者の搬送方法などの「基本訓練」や「VRによる訓練」のほか、実際の炎や熱を体感する「AFT実践訓練」、「林野対応訓練」を行いました。

また、「大規模災害対応研修」には、県内30所属の45名の消防団員が参加し、「基本訓練」や「機器取扱訓練」、「VRによる訓練」のほか、震災訓練場において要救助者の救出等の「実践訓練」を行いました。



基本訓練（搬送方法）



機器取扱訓練



放水訓練（機器取扱と入替）



AFT 実践訓練



林野対応訓練(ジェットシューター)



VR による訓練



実践訓練（救助）



実践訓練（救助）



実践訓練（救助）

令和7年度 消防団員指導員研修

新入団員や比較的経験の浅い消防団員の教育訓練にあたる消防団の副団長、分団長など幹部を対象にした指導員の養成研修が、11月22日から23日の2日間の日程で千葉県消防学校において開催されました。



今年度の研修には県内29所属の45名の消防団員が参加、入校式が行われ、国歌斉唱、入校生指名点呼が行われた後、石橋消防協会長の式辞、横田消防学校長及び吉野消防協会副会長（館山市消防団長）から挨拶がありました。

その後、「幹部の心得」、「火災防ぎょ」、「災害情報収集・伝達訓練」、「訓練礼式」を実施しました。

翌日は、朝礼に続き、「火災防ぎょ」でAFT体験、「救助活動」では、切断器具などの取扱いと実践を行いました。研修終了後の修了式では、参加団員全員に日本消防協会修了証書が授与され、全課程を無事に終えることができました。



入校式



幹部の心得



災害情報収集・伝達



訓令礼式



救助活動訓練



火災防ぎょ（AFT 体験）



救命活動



水災活動（VR 体験）



修了証授与

消防学校 1日入団・入校体験会

県消防課は、令和7年11月1日（土）千葉県消防学校において、1日入団・入校体験会を開催しました。この体験会は、消防団員数の減少が大きな課題となる中、地域防災の将来の担い手である若者の消防・防災意識の向上と消防活動に対する理解促進を図るため令和4年から実施しており、今回、県内在住在学の大学生や専門学校生、高校生のほか中学生も対象に実施し、県内各地から85名の学生たちが参加しました。

当日は、グループに分かれ、午前中に規律訓練、救急訓練、放水・AFT訓練が、午後からは、ロープ結索・渡過訓練、VR訓練呼吸器取扱・濃煙体験訓練、消防車両の体験乗車、消防学校教官との座談会が開催され、消防職員の心構え等の様々な意見交換と県内各地の学生消防（隊）団（15名）の皆さんから活動紹介が行われ、体験会は終了となりました。



AFT 訓練



規律訓練



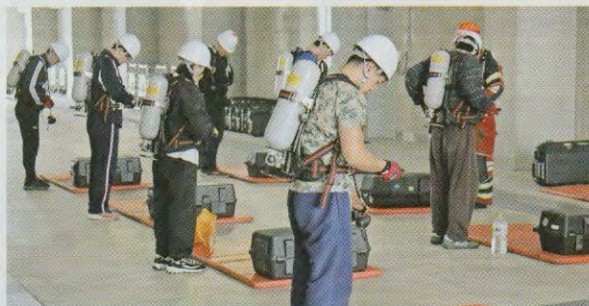
救急訓練



渡過訓練



救急訓練



呼吸器取扱訓練

東 西 南 北

東 西 南 北

防火防災に関する研修を実施

松戸市消防局

松戸市消防局では、令和7年8月5日、6日に、松戸市役所危機管理課及び総務省消防庁派遣者を講師として招き、防火防災に関する研修を実施しました。

市の防災の実情、予防行政の動向及び能登半島地震への現地派遣について講義を行うとともに、感震ブレーカーの設置促進に関する事項の説明やブレーカーキットを使用して作動原理を実演しました。

今後も市民指導に対して必要な防火防災知識の向上に努めてまいります。



東 西 南 北

火災原因調査研修(火災調査報告書作成要領)を実施

松戸市消防局

松戸市消防局では、令和7年8月19日、20日の2日間で80名の職員に対して、火災調査報告書作成要領について研修を実施しました。

内容としては、実技で「実況見分調査書を作成するための材料集め」と称して、見分内容が記載されているカードを選択し、出火箇所を説明するといった内容をゲーム方式で実施し、座学では現場での材料集めの際の注意点等を実施しました。

研修後のアンケート結果からは、火災調査報告書作成要領について理解することができたとの意見が多くあり、有意義な研修となりました。

今後もより精度の高い火災調査報告書を作成していけるように、職員一丸となって取り組んでいきます。



東 西 南 北

女性消防吏員活躍推進研修会を実施

君津市消防本部

君津市消防本部では、現在、女性消防吏員数が1名で10年間女性消防吏員の採用実績がないという課題を抱えております。

現状課題を解決すべく当本部では、令和7年7月23日（水）消防本部大会議室において、総務省消防庁女性消防吏員活躍推進アドバイザー須藤友彦氏（弘前地区消防事務組合、現在は総務省消防庁消防大学校派遣教官）を講師に招き、女性消防吏員活躍推進研修会を開催しました。

研修会では、女性消防吏員の採用、活躍を推進するために、職員採用試験に女性が応募しやすい取り組みや、採用後の働きやすい職場環境づくり、また、女性消防吏員活躍推進のために職員が必要とする意識の醸成方法などについて教養を図り、職員の意識改革に繋がる充実した研修となりました。

今後、この研修会を活かし、女性消防吏員の積極的な採用や、女性が働きやすい職場づくりに努めてまいります。





令和7年度消防広報研修会を開催

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

佐倉市八街市酒々井町消防組合では、令和7年9月4日（木）、横浜市消防局から御所脇佑介氏をお招きし、社会の変化や情報環境の変化に対応した、より戦略的で多角的な消防における広報のあり方などを目的とした研修会を開催いたしました。戦略的広報の他、SNSなどを活用した多角的情報発信、財源確保の方法、採用促進、民間業者へのアプローチ方法や調整方法など、具体的かつ実践的な取り組み等についてご講義いただきました。当日は当消防組合職員の他千葉県消防長会総務委員会所属消防本部（局）の職員の方にも参加していただき、大変有意義な研修会となりました。今後、「戦略的広報」に努めてまいります。



研修会の様子

日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和8年1月

5日 仕事始め

5日～2月8日 令和8年 出初式



2025年度 全国統一防火標語
「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

<表紙の説明>

飯高檀林（海匠支部）

飯高寺（飯高檀林跡）は、僧侶の教育と宗学を研究し、極めることを目的として天正7年（1579年）に開設され、翌年（1580年）に現在の土地に移っており、日本最古の大学として知られています。

檀林とは栴檀林の略語で、僧侶の集まりを栴檀の林に例えた寺院の尊称であり、仏教の学問所を意味します。また、最盛期には600～800人の学僧が集まり、多くの名僧を輩出しました。

このように学問所として開かれた飯高檀林も、明治5年の「学制」発布により同7年に廃檀となり、294年間の歴史を閉じることになりました。

現在、講堂・鐘楼・鼓楼・総門が国の重要文化財に、檀林跡として境内全体が県指定史跡に指定されています。

